

諸人のここに学びて一校長室から見える風景―(26)

新しい年を輝く年に

本日1月8日3学期の始業式を執り行いました。天候や気温を考慮して、オンラインでの実施となりました。それでも、登校してくる生徒の様子を見て安心しました。

始業式では、3学期の締めくくりをしっかりと、ということと一年を輝く年という話をしました。いつもながらの話にはなりますが、頑張る人や一生懸命に取り組む人はカッコいいということ、学校生活を充実させ内面を豊かにしてほしい、自分だけの財産をふやしてほしいと伝えました。

3学期はあっという間です。よき締めくくりとなり新しい学年や次のステージにつながればと願っています。

始業式の後、進路指導部長より共通テストについて話がありました。それは、共通テストの前のセンター試験のときに但馬会場が設置された経緯についてでした。但馬地区の受験生は前日より大きな荷物を抱えて神戸や姫路の受験会場を受験をしていました。これは受験生やご家庭にとっても大きな負担となっていました。平成19年度入試より大学入試センター試験が豊岡高校を会場として受験できるようになりました。その後県立芸術文化観光専門職大学が開学し、大学入学共通テストとなり会場も専門職大学へと変更されました。

但馬会場の設置にあたっては、当時の本校PTAの活動をきっかけに但馬地区の県立高等学校PTA連合会の活動となり、他の諸団体のご協力、地元自治体のご理解、何より署名いただいた但馬地域の多くの方のお力添えにより実現しました。平成19年1月初めて本校でセンター試験が実施されました。そのとき私は3年生の担任をしておりましたが、初めての地元受験にこちらも緊張したことを今でも思い出します。正門前には各高校の先生方が集まり、自校の生徒だけでなく他校の生徒にも声かけされていました。それは「但馬の受験生を応援する」、という但馬会場設置の趣旨を表していたように思います。

今年も大学入試共通テストが近づいてきました。本校3年生、但馬の受験生が力を発揮できますように。

今年も、保護者のみなさま、地域のみなさまどうぞよろしくお願い申し上げます。